

# 火を使わないお灸 太陽

間違った使用法はトラブルの原因です。

この説明書をよくお読みになり、  
正しく上手な使い方を心がけてください。  
また、必要な時に読めるよう、  
大切に保管しておいてください。

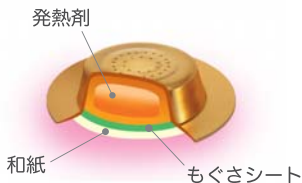


## 使用上の注意

- お灸の効果に熱刺激はなくてはならないものです。やけどになることを100%防ぐことはできません。
- 熱さを強く感じたり熱さが不快なときは我慢せず位置をずらすか取りはずしてください。
- 「体質」「健康状態」「身体の部位」「気温・湿度」「気候」などの違いによって温熱の感じ方に変化が生じますのでご注意ください。
- 商品によっては温熱の違いが発生することもあります。低温やけどにご注意ください。
- お肌の弱い方や敏感な方は、粘着面によるかぶれや皮膚の色が変わったり、また**低温やけどが生じ痕が残る場合があります**。肌の状態をよく観察の上、お使ってください。

## 温熱効果

1. 疲労回復
2. 血行をよくする
3. 筋肉の疲れをとる
4. 筋肉のこりをほぐす
5. 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解
6. 胃腸の働きを活発にする



管理医療機器 温灸器  
承認番号 15900BZZ01362000  
再使用禁止(使い捨て)



持続時間 約3時間 皮膚面平均温度 約40~50°C

## ご使用前に必ずお読みください 低温やけどにご注意ください

### 次の人は使用しないでください

- 自分の意思で本品を取り外すことができない人。
- 幼児

### 次の部位には使用しないでください

- 顔面 ● 粘膜 ● 湿疹、かぶれ、傷口

### 次の人は使用前に医師または 薬剤師にご相談ください

- 今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状(例えば、発疹、発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
- 妊娠中の人。
- 糖尿病等、温感及び血行に障害をお持ちの人。

### 使用に際しては次のことに注意してください

- 本品は絶対に火を使用しないでください。
- 皮膚の敏感な方、かぶれ易い方等、低温やけどが生じる場合があるため、自らの皮膚の状態を十分考慮してください。
- 熱さを強く感じるときは場所を移動するか、取り除いてください。  
※移動した場合、粘着力が弱くなります
- 就寝時の使用は特に注意してください。
- 入浴直前、直後の使用はさけてください。
- 長時間、同じ場所での使用はさけてください。
- 有熱時は使用しないでください。
- 汗をかきやすい環境での使用はおやめください。「初夏~夏~初秋」にかけては、「気温・湿度」とも高いので注意してください。
- 本品を切ったり、破ったり、水で濡らしたりしないでください。
- 本品をはった患部をこたつ、カイロ、電気毛布、床暖房用カーペットなどで暖めないでください。
- 低温やけどを起こしていると、皮膚はく離を起こす場合もありますので、本品をはがす時は、ゆっくりはがしてください。

- 本品をはった上から「寝具・サポーター・ベルト・バック」等で圧迫しないでください。
- お尻など感覚の鈍い部位では、特に低温やけどを起こしやすいので注意してください。
- 本品は、続けて同じところにはらないでください。一日一回を目安に使用ください。特に肌の弱い方はお気をつけください。

### 低温やけどが生じやすい時

気温が高い	敏感肌
湿度が高い	むくんでいる
疲労が強い	汗をかいている

## 保管および取扱上の注意

- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 使用後は不燃ゴミとしてお捨てください。
- 上部シールを開封すると発熱を開始します。開封後の保存はできません。温熱の持続時間を過ぎますと発熱しません。本体上部、空気穴部分を押ししたり叩いたりしないでください。
- 空気穴より鉄粉がもれ衣服が汚れる場合があります。

## お灸する際の目安

- 「心地よい」と感じる範囲内で、ご自分の体調にあわせながら調節してください。(温熱に対する反応は個人差があります)

## 火を使わないお灸太陽の使い方



外装シールより火を使わないお灸太陽を取り出し、上部(凸部)のシールと皮膚面(底部)のシールをはがし患部にはってください。

- 上部のシールをはがすと発熱を開始します。
- 本品は、同じところには一日一回を目安にご使用ください。